



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」

2018年 駿台は創立100周年を迎えます

新聞社・通信社
教育担当各位

2016年10月11日
学校法人 駿河台学園 広報部

2017年度 東大・京大入試志望動向

駿台進学情報センターでは、8月13日・14日に実施した「第1回東大入試実戦模試」、8月21日に実施した「第1回京大入試実戦模試」の志望動向及び同時に実施いたしました東大推薦入試、京大特色入試の志望状況調査について、まとめましたのでお知らせいたします。

【東大入試実戦模試志望動向】

- 志望者数は全体で4%増加。文科類は6%増加、理科類は3%増加で、文科類の人气がより高い。
- 文科類では、文三が16%の大幅増加で難化傾向。文二は6%増加。文一は2%の微減。
- 理科類では、理二が7%増加。理一、理三はいずれも2%の微増。

【京大入試実戦模試志望動向】

- 志望者数は全体で4%減少。文系は4%増加、理科類は7%減少で、文系への高い人気と理系の不人気対照的。
- 文系では、法が11%の大幅増加でやや難化傾向。経済(文)は8%増加で競争激化。一方で、教育は12%の大幅減少で、易化傾向。
- 理系では、農が15%の大幅減少で易化傾向。理は11%の大幅減少、工も7%減少。
- メディカル系は、医(医)は3%のやや減少で少数激戦模様。医(人間健康)は専攻別募集から学科一括募集になり、募集人員が約45%減少するのに対して、志望者数は2%の減少にとどまっており、競争は激化している。

【東大推薦入試・京大特色入試志望状況調査】

- 2年目をむかえるが、志望者数は東大推薦入試が24%減少、京大推薦入試が23%減少となっている。特に、理系成績上位層が減少しており、理系においては、一般入試(前期入試)を狙う層と推薦・特色入試を狙う層がはっきりと分化している。
- 東大推薦入試、京大特色入試のいずれも、志望者内の「地方」「公立」「女子」の占有率が増加している。
- 今回の志望状況調査に掛からない、東大・京大以外の大学を前期日程で志望している層から推薦・特色入試に出願するか否かで、本番入試での志願者数が伸びるかどうか分かれる。

上記に関する資料が必要な場合、またお問い合わせにつきましては、駿河台学園広報部(担当：中村)までご連絡ください。

(学) 駿河台学園 広報部

TEL 03-5259-3231

FAX 03-5259-3057

E-mail public-s@sundai.ac.jp